

## 第2回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会

日時：令和5年10月25日（水）

18時～19時30分

会場：長野県塩尻志学館高等学校

大講義室

### 次第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 会議事項

(1) 第1回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ

(2) 校地検討会議について

(3) 講演

講師 筑波大学附属坂戸高等学校副校長 深澤 孝之 先生

(4) 質疑応答

4. その他

次回の予定

【日時】 令和6年1月11日（木）17時30分～19時

【場所】 core 塩尻

【内容】 両校生徒による学校・学びの紹介

5. 閉 会

塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	石坂 健一	塩尻市 副市長
2		赤羽 高志	塩尻市教育委員会 教育長
3		根橋 範男	山形村教育委員会 教育長
4		百瀬 司郎	朝日村教育委員会 教育長
5		太田 幸一	塩尻市産業振興事業部先端産業振興室 室長
6	産業界	小松 稔	塩尻商工会議所 会頭
7		塩原 悟文	塩尻市観光協会 会長
8	学識 経験者	渡邊 修	信州大学農学部農学生命科学科 准教授
9		小林 敏一	エプソン情報科学専門学校 学校長
10	地域	中島 紀彦	セイコーエプソン株式会社P総務部 部長
11		松本 宏隆	セイコーエプソン株式会社P事業戦略推進部 部長
12		横山 暁一	NPO法人MEGURU 代表理事
13		宮島 克夫	松本地域振興局 局長
14	同窓会	中野 重則	塩尻志学館高等学校同窓会 会長
15		霜田 美奈	田川高等学校同窓会 会長
16	PTA	足助 照夫	塩尻志学館高等学校PTA 会長
17		藤森 正幸	田川高等学校PTA 会長
18		山田 直幸	東筑摩塩尻PTA連合会 会長
19	小中学 校 関係者	富田 昭子	東筑摩塩尻校長会 代表 (吉田小学校 校長)
20		佐倉 俊	東筑摩塩尻校長会 代表 (塩尻中学校 校長)
21		渡邊 和幸	松本養護学校 校長
22	再編 対象校	大西 嶺士	塩尻志学館高等学校 生徒代表
23		堤 夏美	塩尻志学館高等学校 生徒代表
24		金 彰俊	田川高等学校 生徒代表
25		竹内 輝隆	田川高等学校 生徒代表
26		宮川 安司	塩尻志学館高等学校 校長
27		宮入 清志	塩尻志学館高等学校 教職員
28		宮坂 幸登	田川高等学校 校長
29		守屋 秀行	田川高等学校 教職員

事務局

塩尻志学館高等学校		田川高等学校		高校再編推進室	
丸山 明久	教頭・事務局長	堀内 雅司	教頭・副事務局長	中島 秀明	主幹指導主事
宮入 清志		守屋 秀行		原 多恵子	主任指導主事 (塩尻総合学科新校担当)
寺澤 顕孝		大屋 悠里香		田中 聡	主任指導主事 (塩尻総合学科新校副担当)
深澤 和加枝					
高山 直之					
風間 勇一郎					
征矢 理啓					
野口 智敬					

# 第1回 塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ（案）

<b>日時</b>	令和5年8月25日（金） 18時～19時30分		
<b>場所</b>	塩尻市保健福祉センター 市民交流室		
<b>出席 （敬称略）</b>	石坂 健一、赤羽 高志、根橋 範男、百瀬 司郎、太田 幸一、小松 稔、渡邊 修、小林 敏一、中島 紀彦、松本 宏隆、横山 暁一、中野 重則、霜田 美奈、足助 照夫、藤森 正幸、富田 昭子、佐倉 俊、渡邊 和幸、堤 夏美、片桐 尚紀、五十嵐 楓、宮川 安司、宮入 清志、宮坂 幸登、守屋 秀行（以上25名）		
<b>欠席 （敬称略）</b>	塩原 悟文、宮島 克夫、山田 直幸、大西 嶺士（以上4名）	<b>傍聴者</b>	11名
<b>事務局</b>	塩尻志学館高校	丸山 教頭（事務局長）、寺澤・深澤・征矢 教諭	
	田川高校	堀内 教頭（副事務局長）、大屋 教諭	
	県教育委員会	宮澤 高校再編推進室長、中島 主幹指導主事、田中・原 主任指導主事	
<b>当日資料</b>	次第、構成員名簿、配席図、開催要綱、今後のスケジュール（案）、パワーポイント資料		

## 会議事項

- (1) 座長選出 ◎赤羽高志構成員を座長に選出
- (2) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」(県教委より説明)
  - ① 「実施方針について」
  - ② 「再編・整備計画【三次】」
  - ③ 塩尻総合学科新校の学校像（例）
- (3) 質疑応答及び意見交換

## 構成員から出された主な質問・意見(要旨) (→県教委回答)

- ・ 都市部存立普通校の適正規模とはどういう規模か。  
→1学級40人で1学年240人から320人の規模。
- ・ 都市部存立普通校2校（普通科、総合学科）の統合で、なぜ総合学科新校という案か。  
→県内4地区それぞれに総合学科高校をおくことを目標としている。総合学科では普通科の学びも専門教科の学びもできる。この計画では、総合学科の学びを継承・拡充していきたい。
- ・ 実施方針には「特別支援教育の充実」も示されていたが、新校ではどうなるか。  
→新校におけるバリアフリー、インクルーシブ教育については、今後ご意見をいただき検討していきたい。
- ・ 少子化が進む中、私立高校が4校ある中信地区で新校の特色を出していかなければならない。
- ・ 今までの伝統ある学校を外部環境に合わせて再編するが、少子化による単なる数合わせの再編整備ではないということ、新たな社会を創造する力を育むための改革という2点が極めて重要。
- ・ それぞれの生徒に応じた伝え方、説明の仕方がきっとあるので、そこに立ち返ることができるような教員集団・学校になっていくことを期待している。生徒一人ひとりの可能性の芽を見つけていただくような学校であってほしい。
- ・ 新たな高校作り、「新たな」という言葉は大変よく使われるが、わかりやすいようでわかりにくい。明確に具体的に話をしていかないと新校の魅力を発信できないのではないかと。

## その他

### 【次回】

日時：令和5年10月25日（水）18時～19時30分  
 会場：塩尻志学館高等学校 大講義室  
 内容：講演（筑波大学附属坂戸高等学校副校長 深澤孝之氏）

## 塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会 校地検討会議について(案)

### 1 校地検討会議の開催趣旨について

「懇話会」において統合新校に係る様々な事項を検討する中で、特定の事項については懇話会構成員より選出した「専門会議」を開催するものとしており、活用する校地に関しては、県議会の同意が必要な事項であるため、「校地検討会議」を早期に開催し意見交換を行い検討する必要がある。なお、「校地検討会議」の内容は「懇話会」に報告し、意見交換を行うものとする。

### 2 運営等について

- (1) 会議には部会長を置く。
- (2) 開催日は懇話会と同一日を基本とする。
- (3) 会議は非公開とする。

### 3 構成員

	区分	氏名	所属等
1	自治体	石坂 健一	塩尻市 副市長
2		赤羽 高志	塩尻市 教育長
3	産業界	小松 稔	塩尻市商工会議所 会頭
4	同窓会	中野 重則	塩尻志学館高等学校同窓会 会長
5		霜田 美奈	田川高等学校同窓会 会長
6	学校関係者	宮川 安司	塩尻志学館高等学校 校長
7		宮坂 幸登	田川高等学校 校長

## 新校再編実施計画懇話会

### 講師紹介

筑波大学附属坂戸高等学校  
副校長 深澤 孝之

#### 【講師略歴等】

1998年～ 筑波大学附属坂戸高等学校教諭  
2018年～ 筑波大学附属坂戸高等学校主幹教諭  
2019年～ 筑波大学附属坂戸高等学校副校長  
2008年～2021年 筑波大学教員免許状更新講習講師

産業社会と人間 四訂版一よりよき高校生活のために 学事出版 (2020)  
新時代の総合学科 筑波大学附属坂戸高等学校編著 学事出版 (2012)

総合学科の在り方に関する調査研究報告書。  
高等学校教育改革の推進に関する調査研究事業」(2012)

附属学校教育局研究プロジェクト4 (編)  
子どもの国際的資質を育てる実践 プロジェクト研究成果報告書 (2014)

### 講師現任校紹介

平成2年10月	将来計画推進委員会が組織される
平成3年11月	将来計画案「科学技術科構想」を策定する
平成4年10月	「総合学科」への改編が決定
平成6年4月	総合学科としての「総合科学科」を開設
平成6年～9年	「文部省指定：高等学校教育改革推進研究校」
平成10年～11年	「文部省指定：高等学校教育多様化実践研究協力校」
平成12年～14年	「文部省指定：研究開発学校（科目開発）」
平成15～17年	「文科省指定：研究開発学校（科目開発）」
平成17年～19年	「文科省指定：IT人材育成プロジェクト研究校」
平成19年～20年	「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」研究指定校
平成19年～21年	「文科省指定：発達障害支援モデル事業指定校」
平成20年	「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業
平成22年～24年	「トヨタ財団：アジア隣人プログラム」助成事業
平成24年～	筑波大学社会貢献「地域食育支援」プロジェクト
平成26年～30年	「文科省指定：SGH指定校」
平成29年～	「IBDP認定校」
平成31年～	「文科省指定：WWL拠点校・幹事校」